

決算のポイント

一般会計の歳入は1.4%、歳出も1.4%増加し、令和5年度から2年連続の増となりました。

一般会計の実質収支額は、8億9千万円と49年連続の黒字。前年度実績収支を控除し、財政基金の積立額と取崩額を加味した実質単年度収支は、2億3千万円と2年連続の黒字となりました。

特別会計（国民健康保険事業や介護保険事業など）は、実質収支額で6会計が黒字、4会計は収支差し引きゼロ、土地区画整理事業清算金の1会計は赤字となったほか、企業会計（水道事業、下水道事業）の2事業は黒字となりました。

基金と市債の状況

市の貯金である財政基金など3基金の現在高は120億円で、8千万円の増。

借金である市債の一般会計の現在高は1070億円で、34億円の減。

市財政の健全度

財政破綻を未然に防ぐための「財政健全化法」では、健全度を判断する4つの指標（健全化判断比率）を市民に公表することを義務付けています。

本市の指標は、下表のとおりで、全ての基準を満たしています。

健全化判断比率	本市の 令和6年度決算	法で定める 早期健全化基準
実質赤字比率 (一般会計の年間赤字割合)	－	11.25%
連結実質赤字比率 (全ての会計の年間赤字割合)	－	16.25%
実質公債費比率 (借金返済の割合)	3.9%	25.0%
将来負担比率 (将来負担が見込まれる負債割合)	19.9%	350.0%

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、赤字でないため値なしとして「－」表示

一般会計

歳入 (A)

1312億9200万円

歳出 (B)

1303億5692万円

形式収支
(C = A - B)

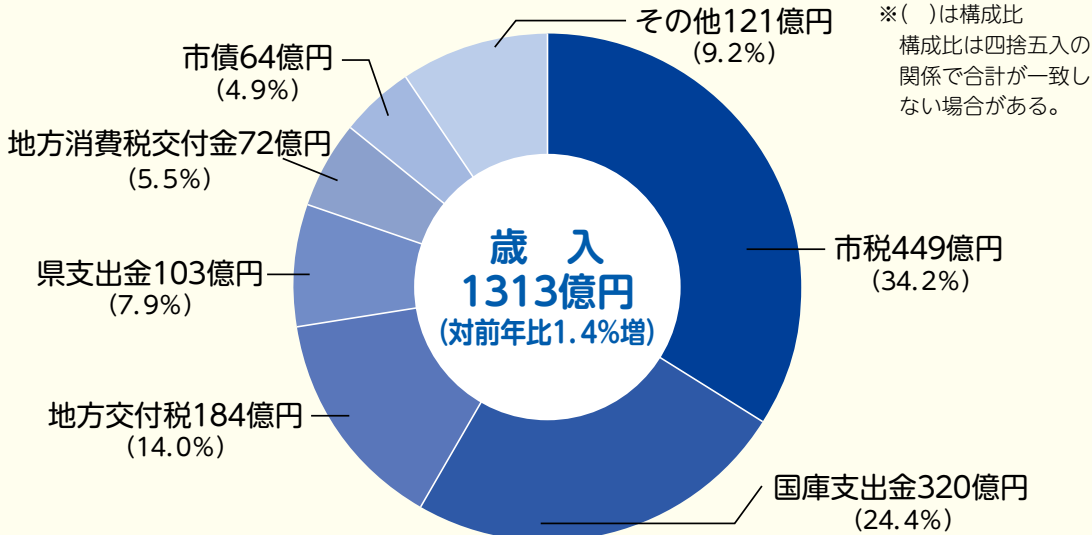
9億3508万円

繰越財源
(D)

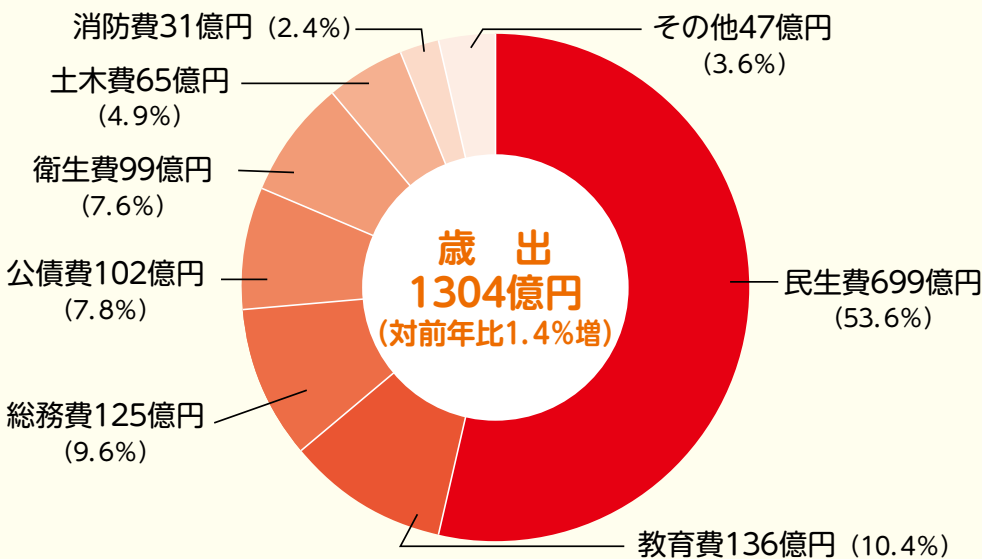
4831万円

実質収支
(C - D)

8億8677万円



前年度比で市税は、土地の評価替えや家屋の新增築などにより固定資産税および都市計画税が増加した一方で、定額減税の影響などによる個人市民税や一部法人の減収による法人市民税の減少により、14億円の減。
国庫支出金は、私立保育所・認定こども園等にかかる施設型給付費負担金や児童手当にかかる負担金などが増加した一方で、新型コロナウイルスワクチン接種にかかる国庫負担金および国庫補助金などの減少により、4億円の減。



前年度比で民生費は、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費が減少した一方で、私立保育所等の運営にかかる幼保給付費、訓練等給付事業や障害児通所支援事業などの障害福祉事業費の増加などにより、34億円の増。

教育費は、明石商業高等学校福祉科創設準備事業費などが減少した一方で、人事院勧告に基づく給与改定や退職手当の増による職員費の増加などにより、5億円の増。

令和6年度

決算を認定

9月19日に令和6年度決算審査特別委員会を設置し、10月1日から10月15日まで各会計の決算議案を詳細に審査した後、10月16日の本会議で原案どおり認定しました。

市民の声を聴き予算の最有効活用を

——重点的に取り組む事項——
本委員会は子育て世代等を支援することも局、学校教育を支援する教育委員会、皆さまが安心して暮らせるよう支援する福祉局など、市民の暮らしを支える分野の施策を審査する委員会です。

——委員長として一言——
本年度は、明石市立市民病院の再整備方針の検討、保育所等の職場環境の改善や待機児童対策、介護福祉士やケアマネジャー等の人材育成の支援などを進めてまいります。

【担当分野】
教育や福祉、介護保険、子育て支援・子どもの健全育成、保健衛生など、市民の暮らしを支える分野を審査します。



まさき かつ ゆき
正木 克幸

【議会歴】
在職1期。監査委員、総務常任副委員長などを歴任。52歳。

文教厚生
常任委員長に聞く

明石市のさらなる発展に向けて

——重点的に取り組む事項——
本委員会は市政全体の方向性を示す市の司令塔をチェックする役割を担っており重要課題に取り組んでいます。大久保駅周辺市有地の利活用として老朽化と耐震性不足が課題の大久保市民センターを中部地区保健福祉センター用地へ官民連携も検討し、移転整備します。J-T跡地公共公益施設用地は、市民から要望のある図書館や交流施設の整備を含め、議論を重ねます。さらに、明石公園内旧市立図書館跡地の利活用、西明石地区の活性化、天文科学館の改修、公共施設配置適正化計画の改定やあかしSDGs後期戦略計画の策定等多岐にわたる課題に取り組めます。

——委員長として一言——
市民の声に耳を傾け、最小の費用で最大の効果を挙げ、本市のさらなる発展に努めてまいります。

【担当分野】
市政の総合企画や広報、財政・市税、消防など、総務・財務部門や市民の安全に関わる分野を審査します。



はい の しゅう へい
灰野 修平

【議会歴】
在職2期。副議長、監査委員、建設企業常任委員長などを歴任。57歳。

総務
常任委員長に聞く